

○信越総合通信局長表彰

「電波の日」（3団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
長野朝日放送株式会社 （代表取締役社長 土屋 英樹）	全国高校野球選手権長野大会の全試合オンデマンド配信や放送コンテンツの海外展開など、地域の情報通信の発展に多大な貢献をされました。
エルシーブイ株式会社 （代表取締役社長 吉澤 君弘）	永年にわたり「親子ラジオ工作教室&番組出演」を開催し、電波やラジオの役割を身近に感じもって、防災意識を高める機会を提供するなど、電波利用の普及発展に寄与されました。
木曾町 （町長 原 久仁男）	御嶽山の携帯電話不感地帯解消対策の検討、携帯電話の基地局整備の在り方に関する研究会への参加等、携帯電話エリア整備の推進に大きく貢献されました。

「情報通信月間」（2個人）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
工藤 陽介 （トーンモバイル株式会社マーケティング本部本部長）	永年にわたり大学での情報モラル教育の講義、サイバーセキュリティセミナーでの講演などを通じて、信越地域の情報化の推進に多大な貢献をされました。
太刀川 信一 （独立行政法人国立高等専門学校機構 長岡工業高等専門学校 嘱託教授）	信越情報通信懇談会地域情報化委員長、戦略的情報通信研究開発推進事業の評価委員などを歴任され、地域の情報化推進とICT分野の研究開発を通じ、地域課題の解決に多大な貢献をされました。

○信越電波協力会長表彰（1個人）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
田宮 秀英 （前 株式会社長野放送 取締役技術担当）	永年にわたり放送施設の構築維持や災害時の放送確保、地上デジタル放送への移行に尽力されるなど、放送分野における電波利用の普及発展に多大な貢献をされました。

○信越総合通信局長感謝状（1団体）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
松本市総務部 （総務部長 嵯峨 宏一）	市政における公文書集配業務の事例を総務省の広報資料で紹介されるなど、信書便制度の周知及び普及促進に協力されました。

○信越総合通信局長賞（1団体）

「情報通信の安心安全な利用のための標語」（学校部門）

（敬称略）

受賞者名	事績の概要
上越市立飯小学校 （校長 栗岡 秀明）	「令和元年度情報通信の安心安全な利用のための標語」の公募において優秀な作品を創作されました。 受賞作品「のせた人 あやまったって もうおそい」は、今年度1年間の啓発活動に活用されます。

※ 「情報通信の安心安全な利用のための標語」は、情報通信における安心安全推進協議会（事務局：一般財団法人マルチメディア振興センター）が、平成20年度から、初心者を含む情報通信利用者が安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的に標語を公募し、全国から応募があった作品から最優秀作（総務大臣賞）1点、優秀作（総務省総合通信局長賞）11点以内を選定するものです。

<参考>

○信越電波協力会からの情報通信機器の寄贈（2団体）

信越電波協力会では、情報通信の普及発展を図る事業の一環として「電波の日・情報通信月間」を記念して、新潟県、長野県の福祉団体に情報通信機器を毎年度、寄贈しています。

（敬称略）

受贈団体の名称	寄贈機器
新潟県要約筆記サークル連絡協議会 （会長 近藤 英子）	情報通信機器一式 （ノート型パソコン、プロジェクター等）
社会福祉法人長野県視覚障害者福祉協会 （理事長 中山 吉泰）	情報通信機器一式 （デスクトップ型パソコン、オーディオインターフェース等）